

(2) 今年度の方向性

① 研究主題について

★浜田小学校の教育理念★

じりつ（自立・自律）と 公益・貢献

★浜田小学校の教育目標★

自ら考え、自らの力で生きる子どもを育てる

★浜田小学校めざす子ども像★

◆生活や地域から学びを創り、
それを生活や地域に活かし貢
献する子ども

◆まっすぐな心で他者と対話
（他者意識）、自分を高められ
る（自尊感情、学力・生活力）
子ども

◆生活や地域から学びを創り、
自分（の生活）を見つめ、自己管
理（自己育成）できるたくましい
子ども

じりつとは、助けたり助けられたりしながら自分らしく生きていくことだと思っています。また、人生で大切なことのひとつに「困ったときに助けてと言えること」があると思います。何が起こるか分からない様々な社会変化をのりこえて、自分らしくよりよく生きるためには、他者とのかかわりは不可欠。そのためには、まず、相手の思いを「きく」こと。そして、自分の思いを「話す（わからない、困っている、これはどう？、わたしはこう思う…）」こと。

授業をとおして、相手の考えや思いに耳を傾け、疑問に思ったこと・わからないこと・わかったことも素直に表現し、まわりとつながりながらうんと考え、「わからない」を解決したり、よりよいものをつくっていったりする子どもたちになってほしいと思います。「きく」こと、「わからない」を大切にすることで、子どもたちが楽しく、一生懸命に学び合う授業をいっしょにつくっていきましょう。

そこで、今年度の研究主題も引き続き、

★R7年度 学校研究主題（案）★

まず「きく」そして「話す」
～「わからない」を大切にする教室へ～

としたいと思います。

② 窓口となる教科について

全教科・全領域で、課題の工夫（共有の課題・ジャンプの課題）による学び合いの充実を図っていきましょう。「わからない」を大切に、「きく」こと、「きき合いながら学び合う」ことを意識していきましょう。

③ 研究成果や課題の記録について

●年度始めに「授業研 plus」を行い、全職員が各クラスの実態を把握する。

- ・子どもの授業で学ぶすがたを見つめ、課題を把握する。
- ・めざすすがたのために、どんな手立てをとるかを具体的に考える。
- ・授業後に、A4 1枚に課題・目指すすがた・手立てをまとめる。

●年度後半の授業研で、クラスの変容を見て学ぶ。

- ・半年後の子どもの学びのすがたがどう変容したかを授業研で語り合う。（成果や課題）
- ・授業研 plus の課題に対して手立ては有効だったかどうかを検討する。
- ・学年末まで、残された課題に対して、各担任が手立てを工夫しながら実践を続けていく。

●授業エピソードの共有化

- ・日々の実践の学び合いのすがたで見つけたエピソード、ジャンプの課題を共有しましょう。
⇒ 放課後あちこちで語り合うこと大歓迎！ 自由にエピソードを書いてみなさんにお配りするのもOK！

④ 授業研究会予定

※全ての授業を全職員が見てください。

	日 付	授業提供	備 考
授業研 Plus①	5月15日(木)	2年生・5年生	山大・森田先生来校
授業研 Plus②	5月29日(木)	6年・4年生	
授業研 Plus③	6月19日(木)	1年・3年	
校内授業研究会①	9月26日(金)	3年	山大・森田先生来校
校内授業研究会②	10月22日(水)	2年・4年	市教委要請訪問
校内授業研究会③	11月19日(水)	よつば2組	富士見小教頭先生 来校
校内授業研究会④	12月10日(水)	5年	
校内授業研究会⑤	1月21日(水)	1年	市教委要請訪問
校内授業研究会⑥	2月13日(金)	6年2組	山大・森田先生来校

学びにおける「きく」ってなんだろう？

自分のために「きく」

知りたいから『きく』
分きたいから『きく』

「なぜだろう？」「もっと調べたい」
「もっと考えたい」「もっと探したい」

困っていて『きく』

「どうすればいいの？」「やり方を知りたい」
「分からなくなった」

できるようになりたいから『きく』

「もっとやってみたい」「もっと上手になりたい」

自分も周りも高めるために『きく』

「もっとつながりたい」「コミュニケーションを取りたい」
「もっと相手と仲良くなりたい」

他の人のために「きく」

相手に興味があるから『きく』

「〇〇さんは、どう考えているんだろう？」
「〇〇さんの考えは、どうして自分と違うんだろう？」

相手が心配だから『きく』

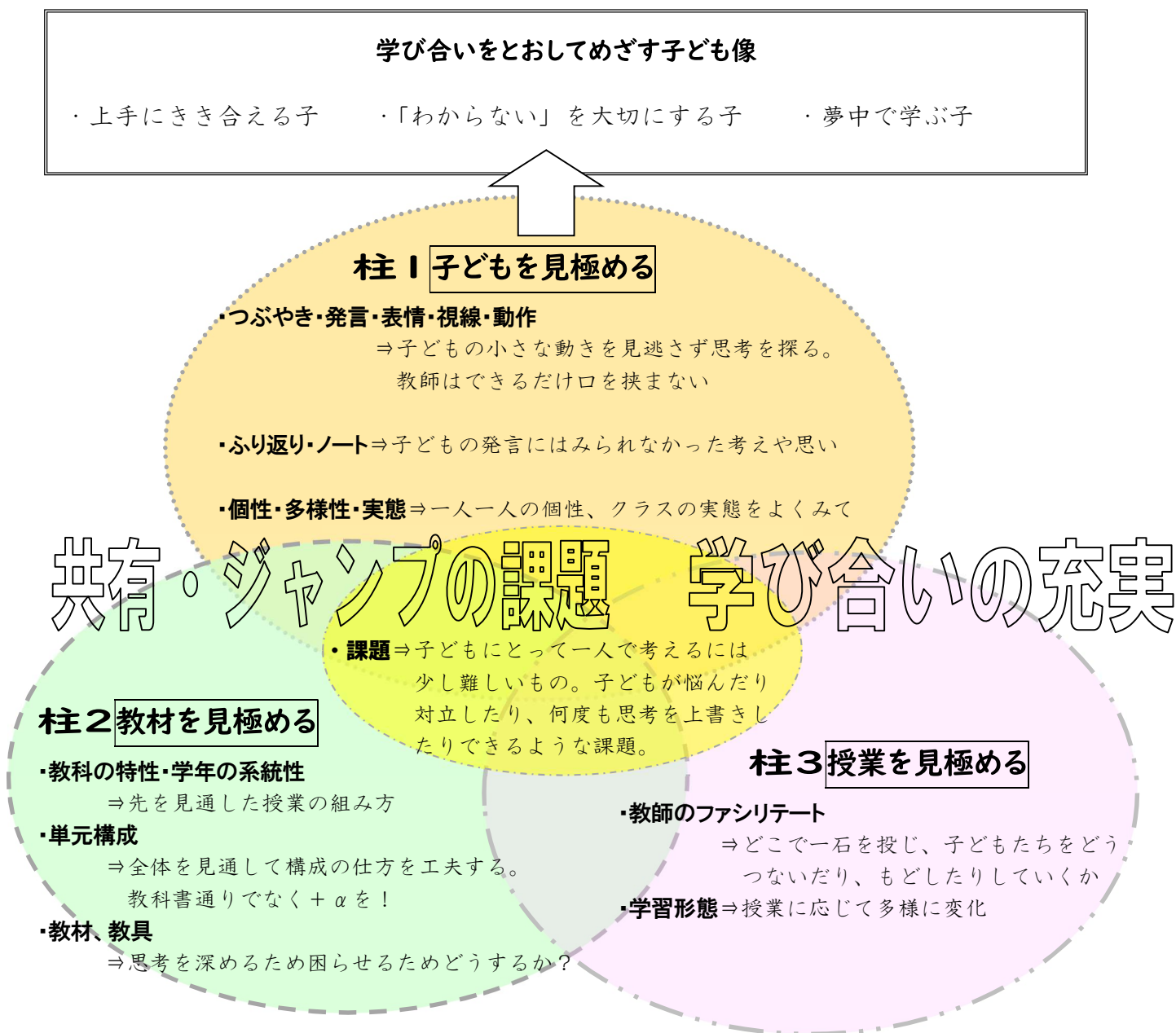
「〇〇さんは、分かっているかな？」
「今の説明で伝わったかな？」

一緒にやりたいから『きく』

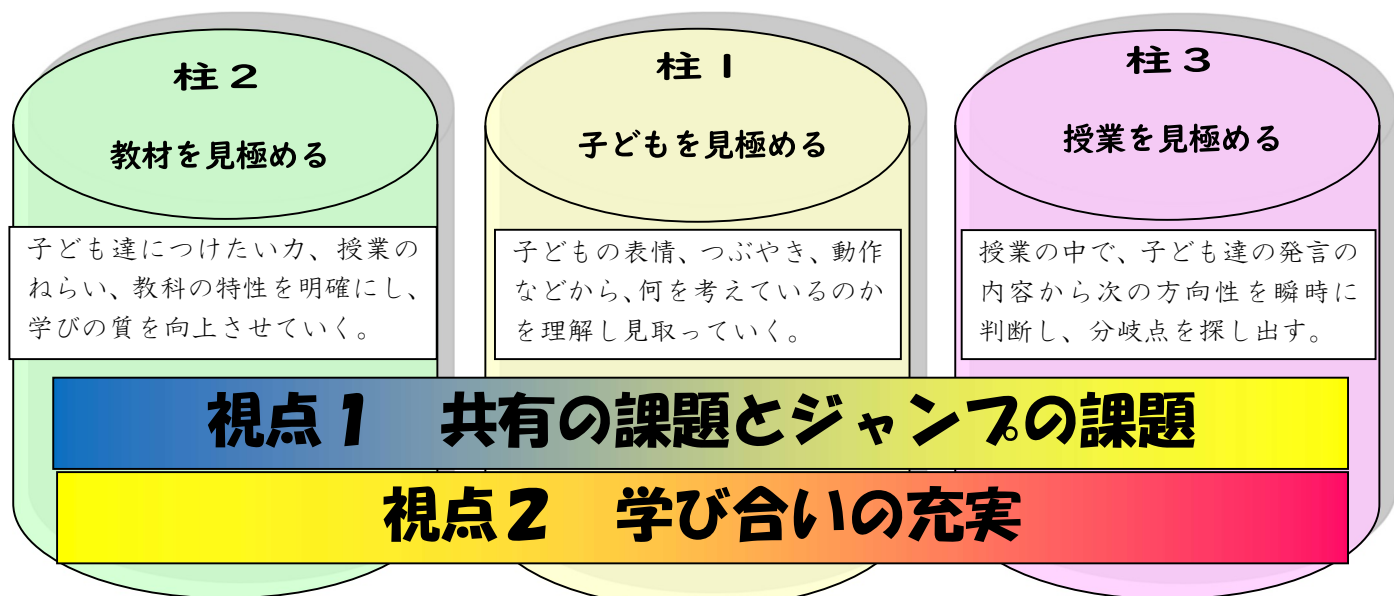
「みんなのできるようになりたい」

『きく』

⑤ 研究構想図



授業改善の３つ柱と視点



授業中 デジカメを一人1台持って、次の点に留意して授業を参観して写真を撮ります。



⑦ 児童が夢中になって考えている姿、学び合っているを紹介しましょう “マイベストショット”

エピソードとして語れるように！

- * 学びが生まれたのは、つながりが生まれたのは、どの場面だったか…
- * どんな内容を考えていたのか… 前後の流れは…
- * 授業者の「きく」「つなぐ」「もどす」のあり方は？

⑧ 児童が困っていた姿を紹介しましょう

“可能性を感じた場面”

つながれない

考えることをやめてしまった

何を考えればよいのかが、そもそもわかっていなかったようだ…

エピソードとして語れるように！

- * 授業のどの場面だったか…
- * どんな表情をしていたか…
- * 前後の流れは…
- * 授業者の「きく」「つなぐ」「もどす」のあり方は？

★授業を参観する先生方は、子どもたちの学びのすがた、変容を見てください。悩んでいる子、つまづいて進まない子がいるかもしれませんが、子どもたちがどうつながるのか、じっと見守りましょう。

研究協議 各グループにパソコンを用意。写真を見ながら、その姿が、なぜ生まれたのかを振り返りましょう。

【紹介の仕方:⑧について】

授業者や子どもが発揮した良さに注目して！

* 何が良かったのか…

「もどし」が絶妙

困っている子のつなぎ方がよかった

簡単に「わかった」と言わなかった。

〇〇君は、ずっと〇〇さんを気にかけていた

何度もテキストに立ち戻りたくなる魅力的な課題だった！

- * 自分の観察した児童(グループは)…
- * 前後の流れは…
- * 授業者の「きく」「つなぐ」「もどす」のあり方は？

【紹介の仕方:⑨について】

子どもの姿から自分事として学ぶ！

* どんな手立てが必要だったのか…

足場かけが不十分だったか？具体物使ったら？

教師が「見守る」我慢強さって大事！

「つないでほしい」サインが出ていた

こちらのグループでは、〇〇君が●●●したおかげで、同じことが起きなかった。このよさを広げたい！

- * 自分の観察した児童(グループは)…
- * 前後の流れは…
- * 授業者の「きく」「つなぐ」「もどす」のあり方は？

授業者から学ぶべき点を確認合いましょう。

- * 自分の授業に活かしたい点は…
- * ぜひ、取り入れてみたい…
- * こんな方向で努力してみたい…
- * なかなかできていないが…どうしたら…？

…などなど、授業を公開してくれたことに感謝の気持ちを持ち、授業づくりの奥深さ・おもしろさ・なんともならないさを共有し、わたしたちも学び合いましょう！

発表

(グループの代表者より) 今日の授業から学んだこと」の発表。

グループのまとめではなく、自分の学んだことを語りましょう！

(授業者より) 今日の授業から学んだこと、明日から取り組むこと等の発表。

(先生方全員) 自分の学びをふせんに「ひとこと」でいいので書いて教えてください→ 高山まで提出ください。